

# 糖尿病性足潰瘍について

今回は形成外科 檜垣ひろみ先生に「糖尿病性足潰瘍」について伺いました。



▲檜垣 ひろみ 医師

## 糖尿病性足潰瘍とは？

糖尿病は身近な疾患ですが、その合併症である「糖尿病性足潰瘍」をご存じでしょうか？糖尿病は血管や神経にダメージを与える病気です。特に心臓から遠い足は血流が悪くなりやすく、傷が治りにくい状態になります。さらに、神経障害に

よって足感覚が鈍ると、靴ずれなどの小さな傷に気づかず、傷が大きくなり悪化してしまうこともあります。加えて、糖尿病では細菌感染が起こりやすいため、来院時には足を切断しなければならぬほど状態が悪い方もいらっしゃいます。

糖尿病性足潰瘍は気づきにくく、治りにくい病気です。だからこそ、予防が何よりも大切です。

### 今日からできる予防法

#### 1. 毎日の足チェック

鏡などを使用し、傷、水ぶくれ、腫れがないか、毎日確認しましょう。家族の助けも大切です。



2. 清潔と保湿ケア  
毎日足を洗って清潔に保ちましょう。乾燥を防ぐために保湿クリームなどを使用し、皮膚のバリア機能が高い状態をキープしましょう。ただし、指の間は湿気がこもらないように注意しましょう。

#### 3. 適切な靴を選ぶ

きつすぎず、中で足がズレない、タコなどができにくい靴を選びましょう。靴下もこまめに交換

して清潔に過ごしましょう。糖尿病は日頃の習慣から合併症を減らせる病気です。

また、足については、巻き爪（手術適応がない場合は自費診療、初回約6千〜1万3千円）、タコや魚の目の治療なども当科で行っておりますので、お気軽にご相談ください。



社会福祉法人 恩賜財団

## 済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1-6

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>



☎0898-47-2500